【第四次】

明徳地区活性化計画書

－心豊かで安全・安心なまちづくり－











令和８年４月１日策定

元気で輝く明徳地区協議会

目　次

1　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　明徳地区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（1）明徳地区の位置
（2）明徳地区の生い立ち
（3）明徳地区の現状

3　明徳地区のまちづくりの基本理念・基本方針等・・・・・・・・・・・・・5
（1）基本理念
（2）基本方針
（3）まちづくりの指標
（4）明徳地区活性化計画の実施期間
（5）明徳地区活性化計画の実施体制

4　明徳地区活性化基本計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
基本計画Ⅰ　明徳地区の福祉・人づくり
基本計画Ⅱ　明徳地区の文化伝承・環境美化
基本計画Ⅲ　明徳地区の健康・体育
基本計画Ⅳ　明徳地区の安全・安心

5　明徳地区まちづくりアンケート調査結果（概要）　・・・・・・・・・・・14

※　調査アンケート集計内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15～36

1　はじめに

令和７年に第４次明徳地区活性化計画書の作成のため、昨年明徳地区の皆様に元気で輝く明徳地区協議会のアンケートのご協力をお願いし、明徳地域の暮らし、ニーズの満足度を高めるために住民の方の意識を調査しました。これらを基にこれからの【明徳地区のまちづくり】を進めていきたいと思います。

実施したアンケートの結果に基づき、まちづくり協議会はもとより地域の各団体、組織は互助・共助を基本として、地域活動の充実・強化を図り、これからの明徳地区の変化に対応できるよう、様々な活動の向上を目指したいと思います。

元気で輝く明徳地区協議会には「福祉・人づくり」「文化伝承・環境美化」「健康・体育」「安全・安心」の４つの専門部会があります。地域の各団体、住民との連携を図りながら、それぞれ様々な地域の課題に取り組んでいます。

明徳地区の課題は、人口減少、高齢化の進行、世代交代です。また、自治会加入率の低下も悩みの種となっています。明徳地区は鳥取駅に近くマンション、アパート等が多く、令和７年３月現在では地域世帯数1726世帯に対し町内会加入世帯は738世帯で加入率42.7%、マンション・アパートに住んでいる人のほとんどが非加入で、鳥取市の加入率平均64．1%を大きく下回っています。

近年自然災害の発生が多く、地域での互助・共助、防災情報等の共有も重要となっています。ただ、自治会非加入世帯の多いマンション等への情報共有・互助・共助の連携には疑問符が付きます。自治会加入世帯に発信する地域の様々な情報を伝える有効な手段がない為です。現在地域としてできることは、掲示板の利用許可がもらえるマンションには、防災情報、地域の活動・行事・イベントの情報を掲示させていただき、ひとりでも多くの方に地域の情報を知っていただき、地域活動に興味を持ってもらう事ができればたと思っています。

自治会の組織がなく、既存の自治会への加入もしていないマンション、新興住宅地の住人も多くなっています。自治会への加入は任意となっていることから、地区の自治会加入促進の働きかけだけでは限界があります。このことに対してこれからの指針を明示して行政からの直接の働きかけ、指導も必用ではないでしょうか。

明徳地区には小学生から老人までの幅広い世代がこぞって参加する２年に一度の聖神社の大祭があり、各世代が楽しみながら交流できる貴重な機会となっています。このつながりを地域のスムーズな世代交代のきっかけにうまく活用できればと思います。また、地区住民の楽しみとなっている、納涼祭・運動会・文化祭の３大事業は、まちづくり協議会、地域の団体、住民、中学生等の協力を得て開催していて、明徳地区の人と人との繋がりを広げ、深めることに貢献しています。

元気で輝く明徳地区協議会、自治会、各団体の中には高齢化が進み、世代交代が吃緊の課題となっている組織もあります。地区住民の協力で世代交代の壁を乗り越えさせていただきたいと思っています。ひとりでも多くの方に地区の活動に興味を持ち、関わり、参加していただき、地区の人と人とのつながりを広げ・深め、心豊かで元気で輝き住みやすい明徳地区として発展するよう御支援、ご協力いただきますよう宜しくお願いします。

元気で輝く明徳地区協議会
会長　望月　進

2　明徳地区の概要

(1)明徳地区の位置

明徳地区はJR鳥取駅北口を背にして左側に広がる商業施設、マンション等集合住宅、個人住宅が密集した市街地です。



(左上は千代川、中央下は鳥取駅)

(2)明徳地区の生い立ち

昭和22年に学校教育制度改革で、6-3-3-4制が敷かれ戦後のベビーブーム、海外からの引き上げ家族などで、日進小学校がパンク状態で分校が必要となり、昭和24年に日進小学校、富桑小学校、美保小学校より分離独立して明徳小学校が設置されたことに伴い誕生した地区です。これまで4,992名の児童が卒業(令和7年3月現在)し、今日に至っています。



昭和26年当時の明徳小学校
(校舎左上は千代川、下側は線路)



現在の明徳小学校(60周年記念写真)

(3)明徳地区の現状

【鳥取市における明徳地区の年齢別人口について】

令和7年度の明徳地区の人口は、3,172人です。年齢構成別にみると、65歳以上は1,082人であり、本地区の人口に占める割合は34.1%になります。

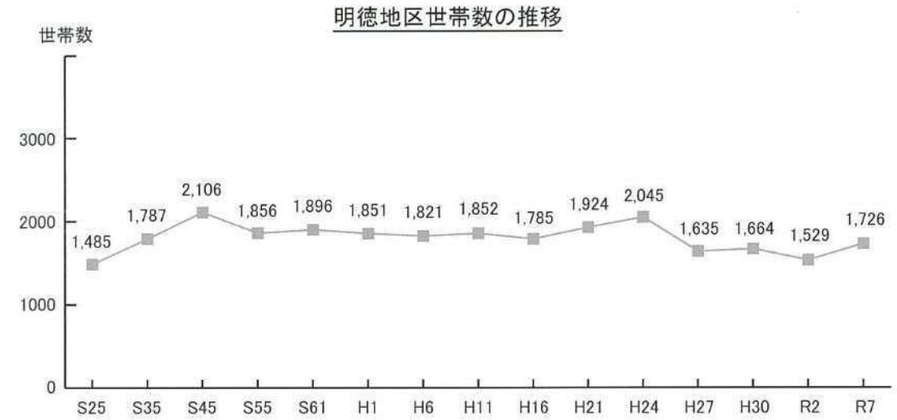
これは、鳥取市の65歳以上の割合31.4%に対して、2.7ポイント高くなっています。

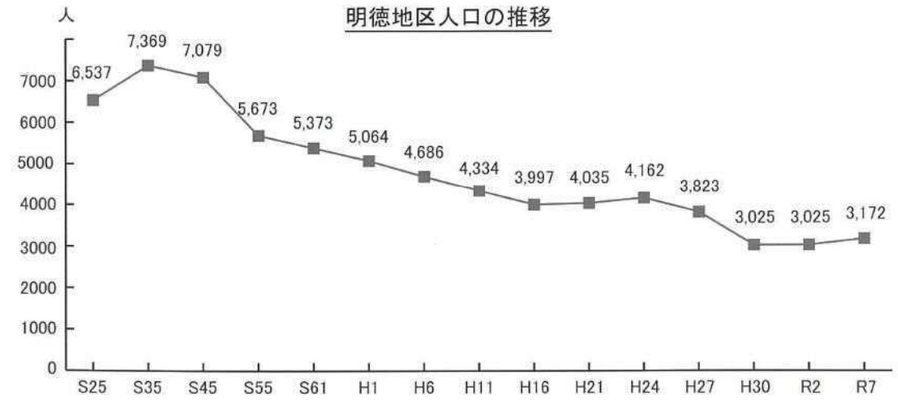
また、14歳以下の割合が12.1%に対して、本地区は9.4%と2.7%ポイント低くなっております。

以上のことから、本地区は少子高齢化であることが言えます。

(資料提供:鳥取市、長寿社会課中央包括支援センター)

【1950年(昭和25年)以降の世帯数と人口の推移】





明徳地区世帯数及び人口については、年々減少しつつあったが、マンション等集合住宅が増えた為やや増加傾向にある。

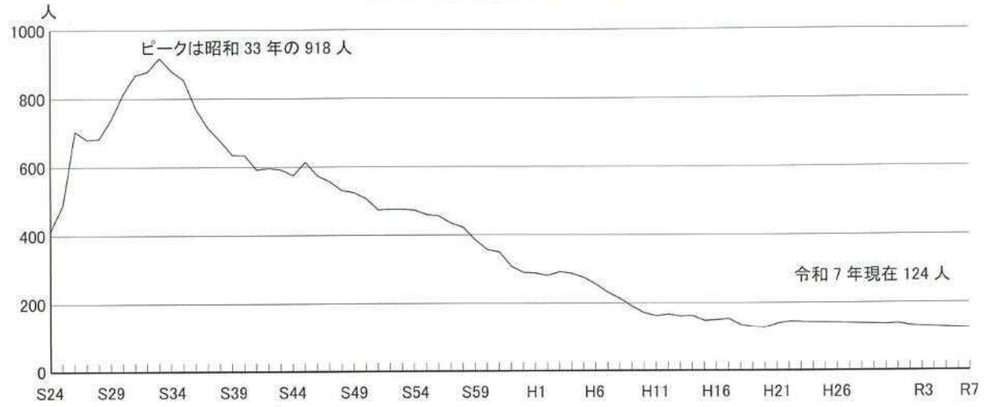
集計データーについては、令和2年度までは人口集計が「町別」とされていた為、各年4月1日時点の住民登録者数又は国勢調査をもとに作成しています。

令和7年度については、明徳校区における令和7年3月31日現在の数値で、鳥取市(長寿社会課中央包括支援センター)の資料をもとに作成しています。

【明徳小学校の児童数】

明徳小学校の児童数は、昭和 33 年 918 人をピークに大きく減少していき、令和 7 年 10 月 1 日現在の児童数は 124 人でありピーク時に対して 794 人の減少となっています。

明徳小学校の児童数の推移

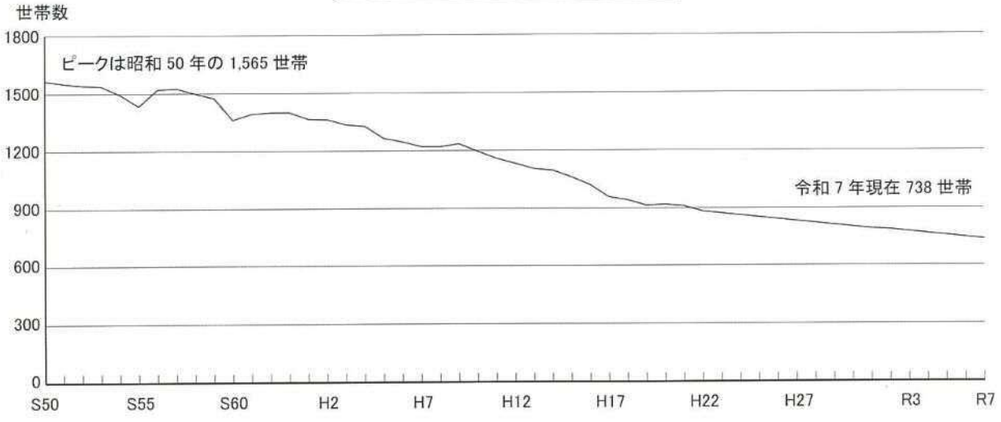


【明徳地区町内会加入世帯】

明徳地区内の町内会加入世帯数も、徐々に減少しています。

令和 7 年度は、最も加入世帯の多かった昭和 50 年の 1,565 世帯より 827 世帯減少し、738 世帯となり昭和 50 年度の半数以下になっています。

明徳地区町内会加入世帯数の推移



上記のグラフから、当地区も少子高齢化が進むとともに、町内会加入世帯の減少により人間関係の希薄化、町内会組織の弱体化傾向にあります。

また近年の環境の変化により自然災害の発生が多発しており「安全・安心で住みやすい明徳地区」であり続けるためには、日頃より弱者への防災・健康・生活面でのサポートや、いざという時に地区住民で助け合う事が必要です。

住民どうしの助け合いは日頃からの住民間のつながりから生まれてきます。

社会が変化する中、地区のつながりをどのように作っていくか、また、どう守っていくのかを住民全体で考えていく必要があります。

3　明徳地区のまちづくり基本理念・基本方針等

(1)基本理念

これまでの地区内の各団体・組織・住民が独自に活動してきた取組を踏まえ、より一層活力があり、魅力にあふれた「心豊かで安全・安心な明徳地区」とすることを目標とし、まちづくり協議会を中心に、各団体、組織・住民が協力しながら地区活動の充実・強化を図り、「元気で輝く明徳地区」を創造していきます。

(2)基本方針

ア）誰もが心豊かで、住んでよかったといえる地域づくり

イ）ふれあいと絆にあふれた地域づくり

ウ）人々がともに支え合い、安全で安心な暮らしができる地域づくり

(3)まちづくりの指標

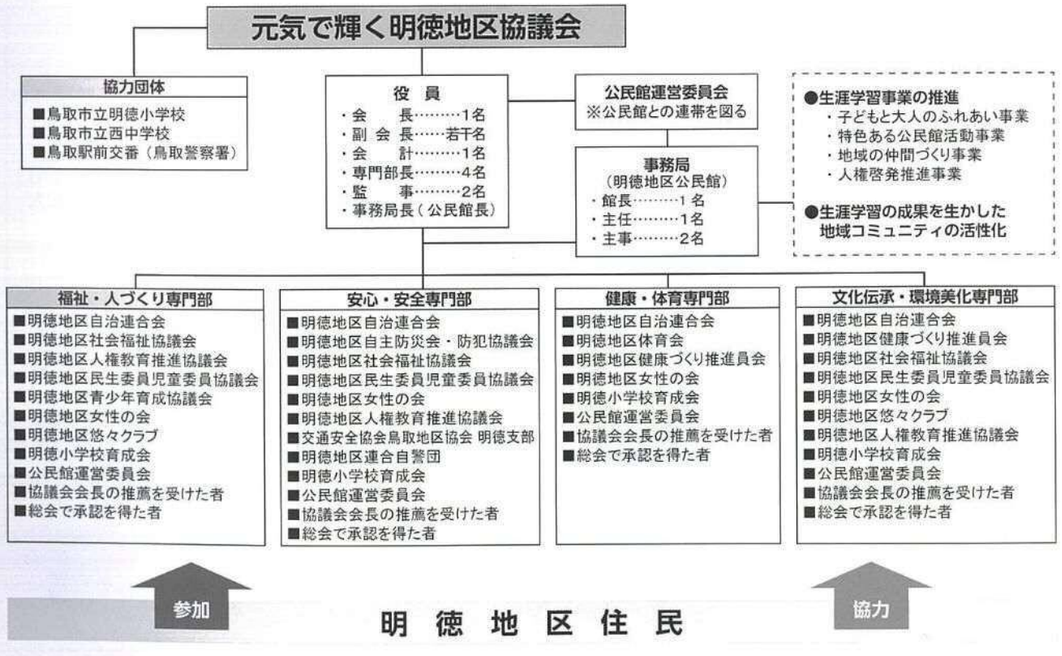
明徳地区の活性化を目指して町内会に加入している世帯数の減少の抑制をめざします。

町内加入世帯数 平成２７年３月８２７世帯　→　令和７年３月現在７３８世帯
（△８９世帯）

(4)明徳地区活性化計画の実施期間

第四次活性化計画の実施期間は、令和８年４月から令和 13 年３月までとします。

(5)明徳地区活性化計画の実施体制



4　明徳地区活性化基本計画

基本計画Ⅰ　明徳地区の福祉・人づくり専門部会

1　取組方針

出会い、ふれあい、絆を大切にした人間関係を作るとともに、地域ぐるみで青少年の育成と高齢者福祉の充実を図り、お互いの人権が大切にされる地域をめざす。

2　現状と課題（アンケート参考）

【高齢者及び障がい者をとりまく支えあい・助けあいについて】

＜現状＞　人を大切にしたまちづくりについては、今回のアンケートでは「重要、やや重要」が多く『人を大切にすること、人との関わりが大切である』という意識が高かった。

＜課題＞　高齢者は生活上の問題について相談する場については満足、やや満足が半数にとどまり、また障がい者対応では公共施設の「バリアフリー化」など満足している人は半数以下で、取り組みの改善が望まれる。

【地域と学校及び公民館との連携】

＜現状＞　学校支援ボランティア、子ども見守り隊等、学校・地区・公民館とつながりを持つことが重要だという意識が多くなっている。
一方で生涯学習が充実した教育文化のまちの満足度では「各行事等で各世代が交流し、人材の発掘や担い手を育てること」「子育てに関して相談したり、他の親子と交流する機会があること」に対する満足度が低かった。

＜課題＞　子育て世代は夫婦共働きが増えているので、ボランティアや公民館活動などに協力することが各家庭の重荷や負担になっている。
また、地区住民と児童との交流のチャンスが少ない。

【交流する場の拡大】

＜現状＞　公民館が狭くまたバリアフリー化が進んでいないため、活動できる内容や人数が制限されている。

＜課題＞　高齢者が気楽に立ち寄れるスペース「一階にフリースペース」がない。
地区住民の憩いの場である公民館の拡充はできない現状がある。公民館事業及び地区の三大事業である納涼祭、運動会、文化祭などを中心とした交流の場を工夫する。

【後継者の育成】

＜現状＞　各種団体の役員は若い人の参加が少ないため年々高齢化している。
アンケートでは、中・高校生の納涼祭への参画意欲は４人に１人「やってみたい」との意見がある。

＜課題＞　各種事業について若者を企画・運営段階から取り入れることを考える必要がある。
地域全体で町内会未加入の方に対して、町内会加入の促進。

【人権学習】

＜現状＞　明徳地区人権教育推進協議会が中心となり西中校区・鳥取市・鳥取県などの研修会に参加、また地域独自の現地研修会や町別人権学習会等を開催、地域全体で人権について学んでいる。

＜課題＞　時代の変化に伴い人権課題が多様化している中、幅広く人権学習を考えていく必要がある。

3　具的な取組

活　動　内　容	事　　業　　内　　容
① 地区と学校との連携について	ア）　学校行事及び地区事業に対してお互いに協力体制で行う。
② 地区と児童との連携	ア）　地区事業に親子・子ども・高齢者が参加しやすい事業の充実。
③ 子育て交流の支援について	ア）　子育て中の保護者への支援事業の促進。 未満児を対象とした子育て事業への活動支援や、保健師等による保護者への指導、助言事業の実施等。
④ 地区住民及び高齢者等への交流の場の充実、支援について	ア）　現在実施している「ふれあいディ」への支援の充実を図るとともに、新しくサロンの立上げの協力、現在取組みが進んでいる共生社会の推進、健康面でのフレイル予防を推進する。
⑤ 各種事業への若者の参加育成について	ア）　明徳小学校卒業生対象の明徳メンバーズの充実とともに、鳥取西中学校とのボランティア活動の連携。 地域在住の成人の方々にボランティア活動の参加を呼び掛ける。
⑥ お互いの人権が大切にされる地域を目指して	ア）　明徳地区人権教育推進協議会及び各町内会を中心に「人権講演会」「町別人権学習会(小地域懇談会)」「県内外研修会」等を重ねる事により高齢者、障がい者、子ども、女性の人権等、様々な人権問題について学ぶ。
⑦ 納涼祭について	ア）　実行委員会を立上げ、内容を検討していく中で中学生・高校生・若者の参加を促していく。
⑧ その他	ア）　福祉・人づくり専門部は、協議事項が発生した場合は、元気で輝く明徳地区協議会役員とともに協議して対応をする。



納涼祭
子供会の
模擬店会場



人権研修
姫路市
西御着総合センター訪問
皮革産業の研修

基本計画Ⅱ　　明徳地区の文化伝承・環境美化専門部会

1 取組方針

住民が住み続けたいと思う地域の景観を活かしたまちづくりと、伝承文化を大切にしながら、地域と学校との連携を図る。

2 現状と課題（アンケート参考）

【地域の文化伝承】

＜現状＞　文化伝承について各町内会加入者の高齢化が進み、町内会単位での活動に参加する人や協力する人が少なくなっているが、聖神社大祭の際は地区に縁がある方や若者の参加など、協力者が増える。

＜課題＞　年間を通しての聖神社のお祭りの担い手を育てることにより、祭りの継続が維持出来る。

【明徳音頭の推進】

＜現状＞　明徳地区で歌や・踊りなど後世に伝えていく文化が必要ではないかと、皆さんの努力により出来た明徳音頭がなかなか地区住民に浸透していない。

＜課題＞　明徳音頭の練習日や発表の場の周知が少ない。
機会があるごとに知らせる。

【交流の場の開催（文化祭）】

＜現状＞　新型コロナウイルス感染症発生前は土曜日の午後・日曜日の開催であったが、新型コロナウイルス感染症が２類から５類に変更後は、日曜日１日の開催になっている。

＜課題＞　文化祭での舞台発表のサークルの減少、地区・サークル・各団体からの展示作品の減少。
会場設営に対して平日の作業の人手不足。

【ゴミ出しルールの徹底】

＜現状＞　ゴミの収集日及び収集規則の変更などがあり、ルール・マナーが追いついていない。
収集場所によってはアパート等新しく引っ越して来た人のルール・マナーが悪い。
駐車場近くのゴミ収集場所では他地区からの駐車場利用者のルール・マナーが悪い。
ごみ収集場所が遠く、高齢者には使用しづらい町内（地区）がある。

＜課題＞　ゴミ出しルールや・マナーの徹底が各町内会未加入者まで周知が出来ていない。
マナー向上を図るため専門部会で研修を行ったが研修会の継続が必要。

【地区と学校との連携】

＜現状＞　環境美化について、地区住民・学校支援ボランティア・学校関係者と行い、特に花壇整備を春・秋に明徳小学校３年生・地区住民と協力しながら行っている。

＜課題＞　地区住民の高齢化や小学生の児童減少により、以前とは違い活動が制限されている。
また、異常気象により夏の活動が制限されている。

3 具体的な取組

活　動　内　容	事　業　内　容
① 地区文化伝承について	ア）聖神社の歴史を学ぶ為、住民による研修会を行う。 イ）聖神社以外の文化財等の探求。
② 明徳音頭の普及について	ア）　練習の機会を地域や学校で増やし、各イベントに明徳音頭を取り入れさらに普及に努める。
③ 環境問題についての地区住民への啓発について	ア）　部会員が中心となり、地区住民への環境問題等について研修会の開催や啓発活動の実施、環境に関連する施設等への視察を通してゴミ分別等の理解を深め、地区に普及する。
④ 地区と学校との連携	ア）　小学生と合同で花いっぱい運動を展開する。 イ）　小学校との共催による運動会の環境づくりをする為、地区住民・小学校・育成会との校庭の草取りを実施する。
⑤ 交流の場の充実（文化祭）	ア）　１日開催でも作品・ワークショップなど充実感のある文化祭を考える。 イ）　若者が行きたくなる企画を考える。 ウ）　若者に企画からの参加を呼び掛ける。



鳥取市 新可燃物処理施設
「リンピアいなば」にて
新しいゴミ処理の研修会



地区の方々と明徳小学校
３年生との花壇整備、春に
咲いたチューリップ





文化祭
児童の作品展示・児童ワーク
ショップ

基本計画Ⅲ　明徳地区の健康・体育専門部会

1 取組方針

健康で明るい地区づくりを目指し、住民が気軽に参加できるイベントなどを推進する。
また、高齢化社会に備えて、フレイル予防も推進する。

2 現状と課題（アンケート参考）

【各行事の活性化】

＜現状＞　新型コロナウイルス感染症流行中は、地区交流事業の中止が続いていたが、近年少しずつ各行事が再開し世代交流の機会が増えつつあるが、年齢層の差や参加者数が町内会で差があり、、行事に参加する人は、いつも同じ人に固定しつつある。

＜課題＞　幅広い年代の住民が参加しやすく、地区住民の間でコミュニケーションを保ち円満な関係の構築。

【体験活動や世代交流の充実】

＜現状＞　スポーツに関して高齢者と若者との行事が少ない。
＜課題＞　誰もが参加しやすい、ニュースポーツなどを取り入れる。

【健康づくりの推進】

＜現状＞　現在、しゃんしゃん体操・明徳音頭等の推進や地域の健康づくりに積極的に活動しており、地域住民の健康を推進する為の支援体制などの充実を図っている。

＜課題＞　各種団体が直面している課題であるが高齢化が進み、次の担い手育成に苦慮している。

【交流の場の開催】

＜現状＞　令和７年度地区と小学校の合同運動会が６年ぶりに行われ、地区の方々の楽しそうな姿が見受けられた。
　今後の運動会について今回実施した中学生・高校生に対してのアンケートでは、半数近くあった方がいいと回答している。

＜課題＞　開催時期及び開催時間さらに種目等の検討が必要。





明徳地区と小学校との合同運動会

3 具体的な取組み

活　動　内　容	事　業　内　容
① 地区住民の健康などに関する講演会や健康相談会の実施について	ア）　地区住民の健康に関して。講演会や市専門員による地区住民の健康に関する相談会などを実施する。 イ）　地区住民の定期健康診断の受診率の向上を推進する。 ウ）　開催時期を検討して、子どもから大人まで参加出来る「ふれあいウォーク」を継続実施する。
② フレイル予防について	ア）　加齢が進むとフレイル（虚弱）になり、要介護に近づいていく。 健康を取り戻す為にも、運動・口腔・栄養・社会参加など、健康でいる為の講習会などの開催。
③ 運動会の実施について	ア）　運動会の実施については、実行委員会を立上げ審議を、行い実施の際は地区体育会が中心となり共催団体と協議して運営を行う。 また、実施にあたっては中・高校生の意見を反映する。
④ 体験活動について	ア）　住民が参加しやすいスポーツやニュースポーツ等を取り入れる。





健康・体育専門部による救命救急講習会

基本計画Ⅳ　明徳地区の安全・安心専門部会

1 取組方針

あらゆる災害への対応を考え、強い地域づくりを目指すため、災害時における自力で避難出来ない方への支援体制を整備する。

2 現状と課題（アンケート参考）

【災害時の意識について】

＜現状＞　地震・大火・洪水・台風など、災害時の指定緊急避難場所について「知っている」が約７割で「知らない」が２割と、前回より「知っている」が１割ふえた。
　災害時の非常袋の準備については、準備している住民が増えている。
また、防災・減災の面での備蓄は「水・食糧の備蓄」が多かった。
　「自力で避難出来ない方への避難体制の整備が必要」とする意見が８割以上と、協力体制の必要性の意識が高まっている。
　情報共有については微増するが、依然として「整っていない・わからない」との意見が多い。

＜課題＞　災害時、地域住民全員の避難等についての「意識」・「備え」・「避難行動」・「自身の安全確保」の認識が必要であり、特に自力で避難出来ない方への情報提供、住民の協力体制の整備が求められる。

【交通ルール、安全意識の向上】

＜現状＞　令和６年秋に自転車運転に関する道路交通法が変更になり、自転車運転中のヘルメット　着用の義務付けなど規制が厳しくなったが遵守されてない。
　明徳地区は道幅も狭く、さらに見通しが悪い交差点が多く、子どもや高齢者が事故に遭わないかいつも心配している。

＜課題＞　地区住民への交通安全講習会等の実施回数を多くし、自転車運転のマナー等の改善を促す。



明徳地区総合防災訓練

3 具体的な取組

活　動　内　容	事　業　内　容
① 自主防災会の活動への支援、協力について	ア）　災害時、避難所開設のタイミング、開設場所の周知方法等の徹底を図る。 イ）　災害によっては、避難所に避難するのではなく、屋内安全確保（垂直避難など）の説明及び指導をする。 ウ）　各町内において避難場所までの避難経路の確認をする。 エ）　各自に必要な非常持ち出し袋及び非常備蓄品に関する説明や準備の手伝い。 オ）　自力で避難出来ない方への避難体制の整備が必要である。 　民生委員との協力により、独居高齢者の安否確認を実施する。 　避難救助については、明徳地区連合自警団及び各種団体などとの連携した取組みが必要である。 カ）　災害時、防災ラジオやスマートフォン・パソコンによる鳥取市防災アプリでの情報共有を行う。また、使用方法の講習会などを開催する。 キ）　毎年地区の総合防災訓練を実施し、その時のアンケート結果などをもとに、災害時における防災対策を考える。
② 地区の交通安全対策について	ア）　高齢者への交通安全対策について、関係機関と連携をはかり交通安全対策教室などを開催する。 イ）　各種団体による小学生の下校での見守り隊は継続実施し協力していく。 ウ）　令和６年秋に変更があった道路交通法について、講習会の開催を重ねることにより事故を防ぐ。 エ）　地区の交通安全対策協議会と連携し、自転車などのマナーについて対策を検討する。



防災講演会



5　明徳地区まちづくりアンケート調査結果（概要）

元気で輝く明徳地区協議会

Ⅰ　調査の概要

○対　象	738 世帯　回収数　468 世帯（63.4%）
○回答者	男 180 人（38.5%）　女 233 人（49.8%）　不明 55 人（11.8%）
○年齢構成	10 代：0.2%　20・30 代：5.8%　40・50 代：22.0%　60 代以上：36.3%
	75 歳以上：32.5%　不明：3.2%
○調査期間	令和６年 11 月 1 日～11 月 30 日
○調査方法	明徳地区全世帯に配布

結果まとめ

【人を大切にしたまちづくり】

人を大切にしたまちづくりの各設問とも「重要、やや重要」が約９割あり『人を大切にすること、人との関わりが大切である』という意識が高い。

満足度では「近所の人と顔見知りである」「出会った人にあいさつをすること」は「満足」と回答した人が多いが、一方で、「公共施設のバリアフリー化」は満足している人は半数以下と、取り組みの改善が進んでいないようである。

【道路や公共交通機関などの機能を活かした活力あるまち】

道路や公共交通機関について、各設問とも９割以上の人が「重要、やや重要」を合わせた「重要」であると思っている。

一方「歩行者、自転車も交通安全ルールを守り、安全に対する意識が高いこと」の満足度が半数以下と低くなっている。

【地域の景観を活かした憩いと潤いのまち】

地域の景観を活かした憩いと潤いのまちについて「ゴミ出しのルールやマナーを守り、お互いが気持ちよく生活すること」の重要度が９割以上と高くなっている。一方、憩いの場としての緑や公園等の充実、景観を活かしたまちづくりへの不満も多くみられた。

【生涯学習が充実した教育と文化のまち】

学校や公民館など地域のつながりを持つことは重要だという意見が多くなっている。
一方「満足度」をみると各項目とも満足度は低く、特に「各行事等で各世代が交流し、人材の発掘や担い手を育てること」「子育てに関して相談したり、他の親子と交流する機会があること」に対する満足度が低くなっている。

【明徳地区の住みやすさ】

明徳地区は「住みやすい」（「住みやすい、やや住みやすい」を合わせた）と感じている人は 78.2%である。一方で「やや住みにくい、住みにくい」を合わせた「住みにくい」と感じている人は 8.8%である。

令和２年調査と比較すると「住みやすい」は５ポイント程度減少している。

【防災対策と災害時における対応について】

避難場所の周知については「知っている」が 73.7%「知らない」が 19.4%あり、約７割の人に避難場所を周知できている。過去３回の調査と比べると「知っている」と回答した人が約１割増加しており、２割近くの人が避難場所を「知らない」と答えている。

調査アンケート集計内容

目次

Ⅰ　調査の概要 …… 17
Ⅱ　調査の結果 …… 19
問 1 明徳地区が現在取り組んでいる各施策の重要度と満足度について …… 19
（1） 人を大切にしたまちづくり …… 19
（2） 道路や公共交通機関などの機能を活かした活力あるまち …… 20
（3） 地域の景観を活かした憩いと潤いのまち …… 21
（4） 生涯学習が充実した教育と文化のまち …… 22
問 2 明徳地区の住みやすさについて …… 23
問 3 明徳地区の主な行事への参加状況 …… 23
（1） 納涼祭・文化祭・運動会の参加状況 …… 23
（2） 納涼祭・文化祭・運動会の参加理由 …… 24
（3） 文化祭の開催期間について …… 24
（4） 中学生や高校生等の次世代の方々の参加・参画について …… 25
（5） 明徳小学校での地区・小学校合同の「運動会」に行きましたか。 …… 25
（6） 地区・小学校合同の運動会に行った感想は、どうでしたか。 …… 26
（7） 運動会に行かなかった理由は何ですか。 …… 26
（8） 運動会の種目等で、参加してみたいものがありますか。 …… 27
（9） 地区運動会はあった方が良いですか。 …… 27
問 4 防災対策と災害時における対応について …… 28
（1） 地震、大火、洪水、台風時の指定緊急避難場所を知っているか。 …… 28
（2） 災害時の非常袋（懐中電灯、ラジオ、救急医薬品、水、食料等）の準備 …… 28
（3） 自力で避難できない方の避難体制の必要性 …… 29
（4） 災害時の情報の共有体制 …… 29
（5） 避難誘導の体制整備 …… 30
（6） ご自宅での防災・減災への取り組み …… 30
（7） 鳥取市総合防災マップの認知度 …… 30

【中学生・高校生に対する明徳地区の行事等への参画意識調査】

問 5 回答者の属性 …… 31
問 6 明徳地区の住みやすさ …… 31
問 7 中学生・高校生の納涼祭について …… 31
（1） 最近２年間に納涼祭に行ったか …… 31
（2） 納涼祭に誰と行ったか …… 32
（3） 納涼祭の感想 …… 32
（4） 納涼祭に行った理由 …… 32
（5） 納涼祭に行かなかった理由 …… 33
（6） 納涼祭の参画意欲 …… 33
（7） 納涼祭で実施してみたい祭事 …… 33

問 8 中学生・高校生の運動会について 34
（1） 地区運動会はあった方が良いか 34
（2） 運動会で参加してみたい種目 34
問 9 中学生・高校生の文化祭について 35
（1） 最近２年間に文化祭に行ったか 35
（2） 文化祭に行かなかった理由 35
（3） どのような文化的企画（出演・展示・演奏 等）があれば「文化祭」に行ってみたいか 36
（4） 自分の作品の披露・展示希望 36
（5） 文化祭の企画・運営への参画希望 36

Ⅰ 調査の概要

1 調査の目的

明徳地区の現状を把握するとともに、現在ある問題や課題を洗い出し、これからのまちづくりの在り方を考える。

2 調査の内容

○明徳地区が現在取り組んでいる各施策の重要度と満足度について

○明徳地区の住みやすさについて

○明徳地区の主な行事への参加状況

○防災対策と災害時における対応について

○中高生の各種公民館事業等への意識について

3 調査の設計について

①調査地域	鳥取市明徳地区
②調査対象	各世帯
③標本数	738 世帯
④調査方法	各町内会長が回収
⑤調査時期	令和６年 11 月 1 日～11 月 30 日

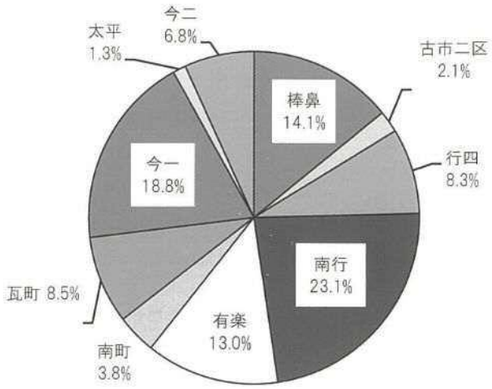
4 回収の結果

①配布数	738 件
②回収数	468 件
③回収率	63.4%

＜回答者属性＞

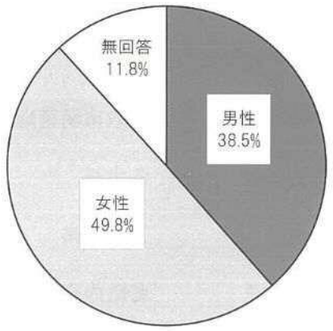
1　回答者の町内会

町名	回答件数	(全体)%
棒鼻	66	14.1
古市二区	10	2.1
行四	39	8.3
南行	108	23.1
有楽	61	13.0
南町	18	3.8
瓦町	40	8.5
今一	88	18.8
太平	6	1.3
今二	32	6.8
無回答	0	0.0
合計	468	100



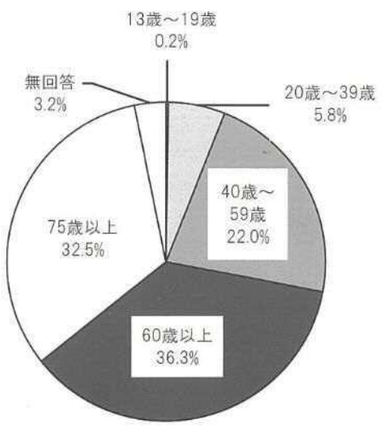
2　性別

性別	回答件数	(全体)%
男性	180	38.5
女性	233	49.8
無回答	55	11.8
合計	468	100



3　年代

年代別	回答件数	(全体)%
13歳～19	1	0.2
20歳～39	27	5.8
40歳～59	103	22.0
60歳以上	170	36.3
75歳以上	152	32.5
無回答	15	3.2
合計	468	100



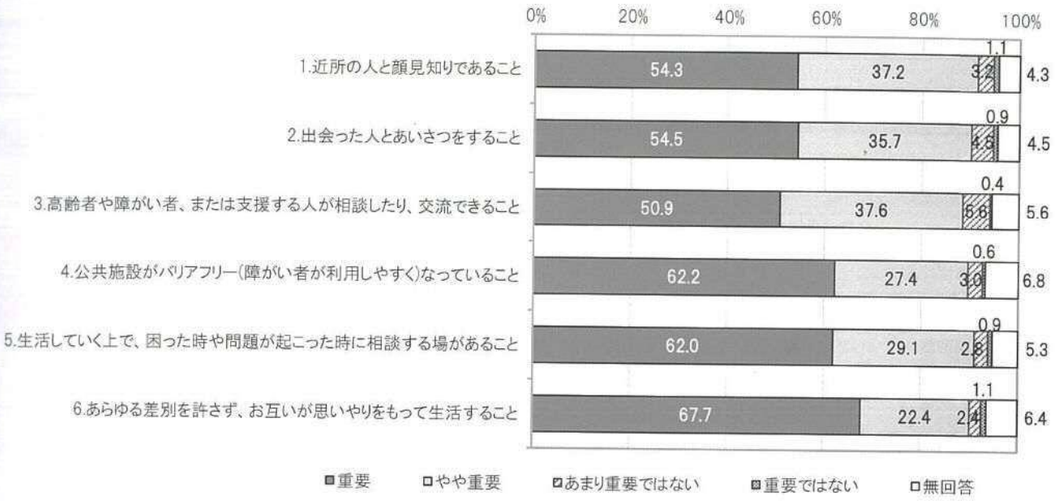
Ⅱ　調査の結果

問1　明徳地区が現在取り組んでいる各施策の重要度と満足度について

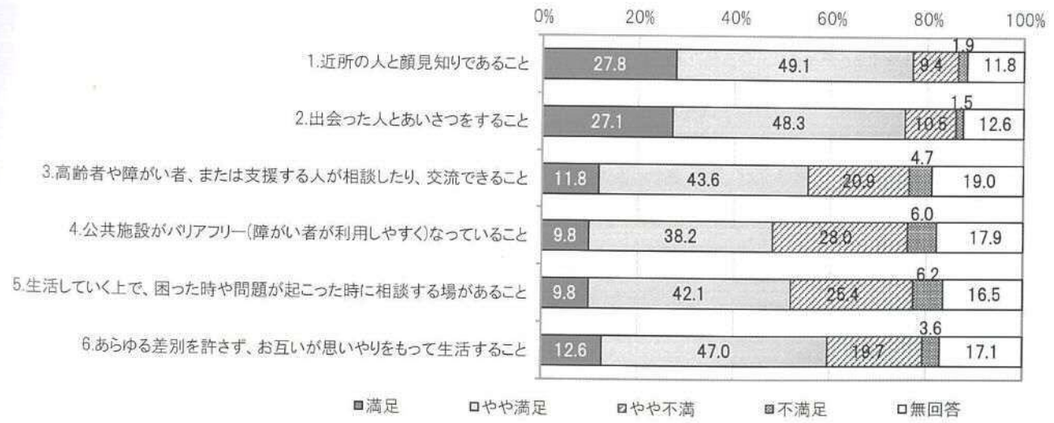
（1）　人を大切にしたまちづくり

～人を大切にする意識は高いが、バリアフリー化への対応が課題～

【Ⅰ】人を大切にしたまちづくり(重要度)

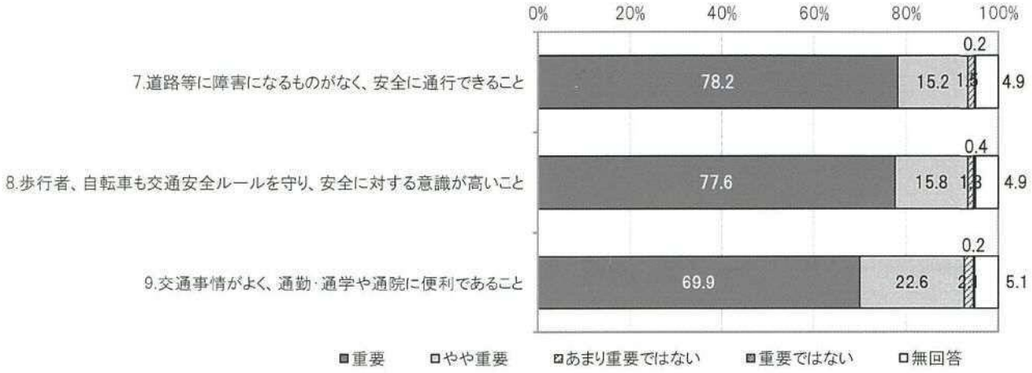


【Ⅰ】人を大切にしたまちづくり(満足度)

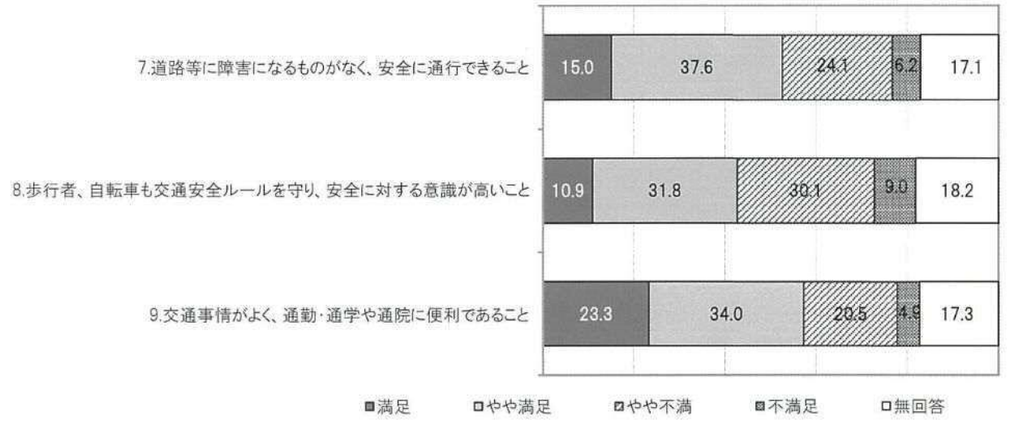


（２） 道路や公共交通機関などの機能を活かした活力あるまち
～交通ルールを守る意識が高いことへ満足度が低い～

【Ⅱ】道路や公共交通機関などの機能を活かした活力あるまち（重要度）

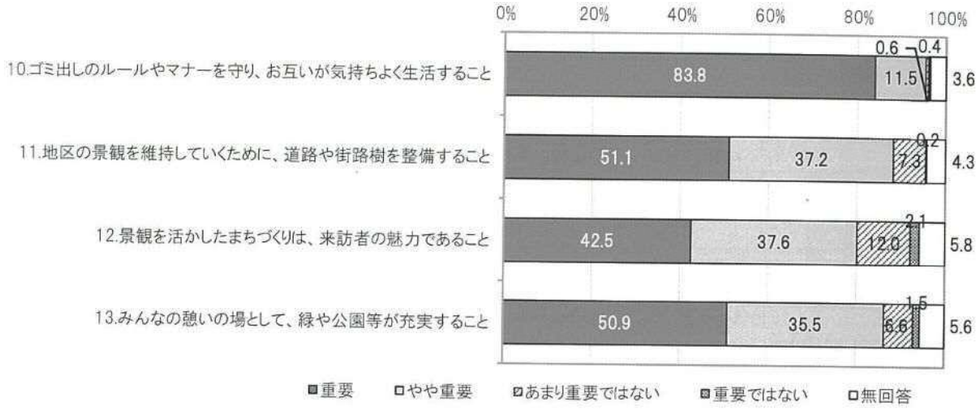


【Ⅱ】道路や公共交通機関などの機能を活かした活力あるまち（満足度）

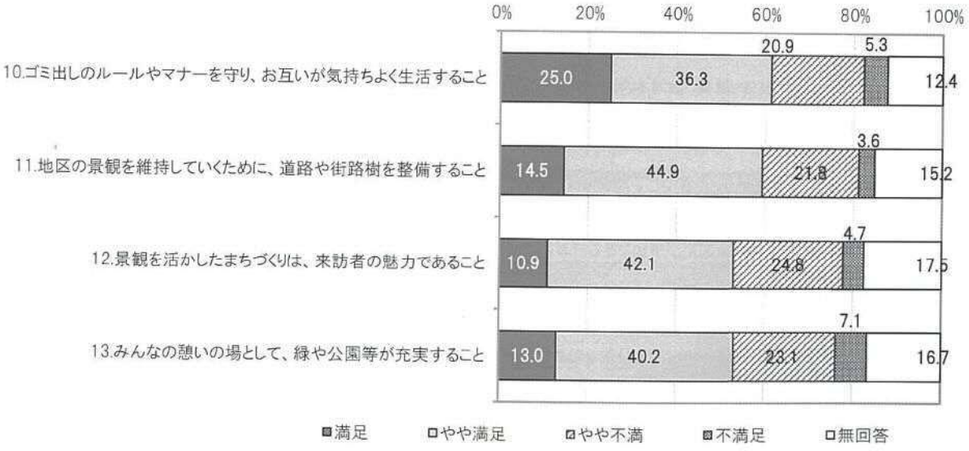


（３） 地域の景観を活かした憩いと潤いのまち
～ゴミ出しのルールやマナーに関心があり、憩いの場と景観を活かしたまちづくりに不満～

【Ⅲ】地域の景観を生かした憩いと潤いのまち（重要度）

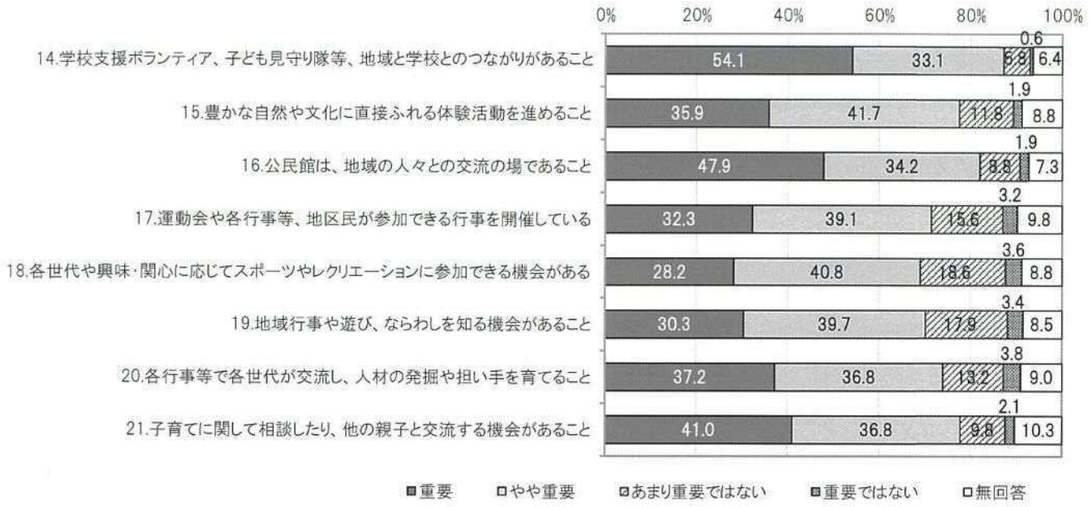


【Ⅲ】地域の景観を生かした憩いと潤いのまち（満足度）

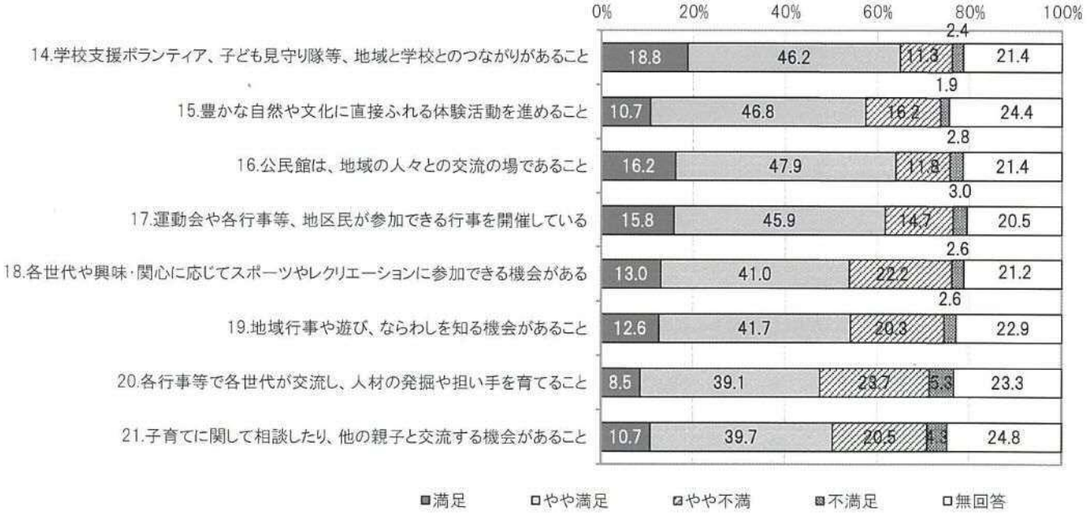


（４） 生涯学習が充実した教育と文化のまち
～学校、公民館、地域のつながりを重要と考えている～

【Ⅳ】生涯学習が充実した教育と文化のまち（重要度）

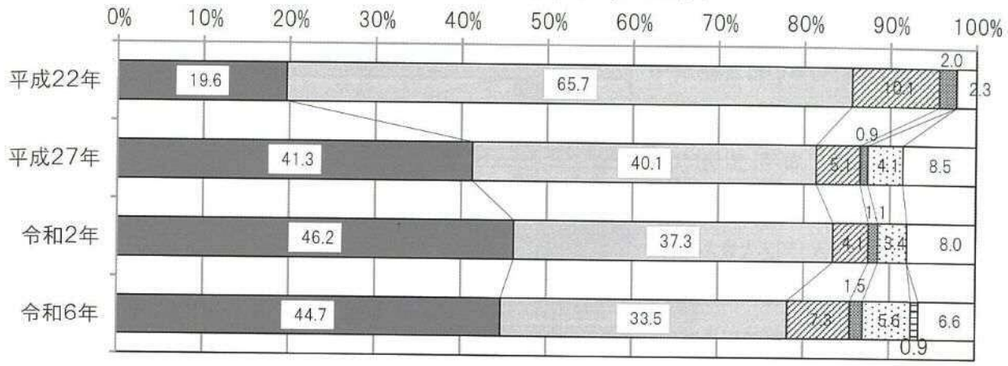


【Ⅳ】生涯学習が充実した教育と文化のまち（満足度）



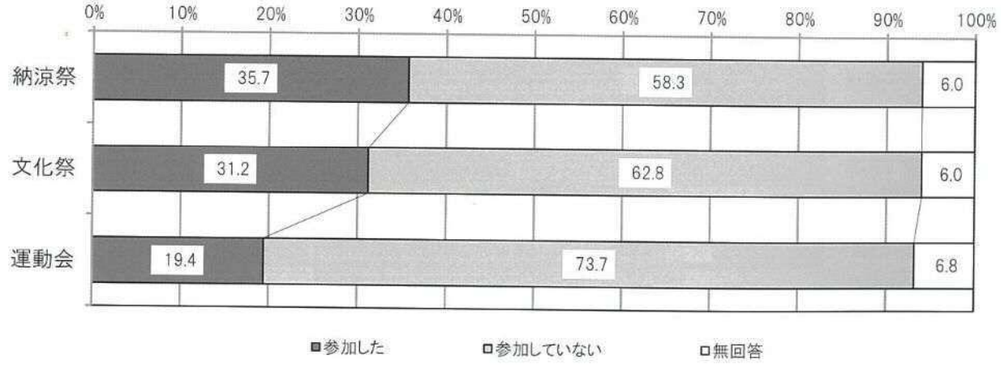
問2 明徳地区の住みやすさについて
～約８割の住民が「明徳地区は住みやすい」～

明徳地区の住みやすさ（n=468）



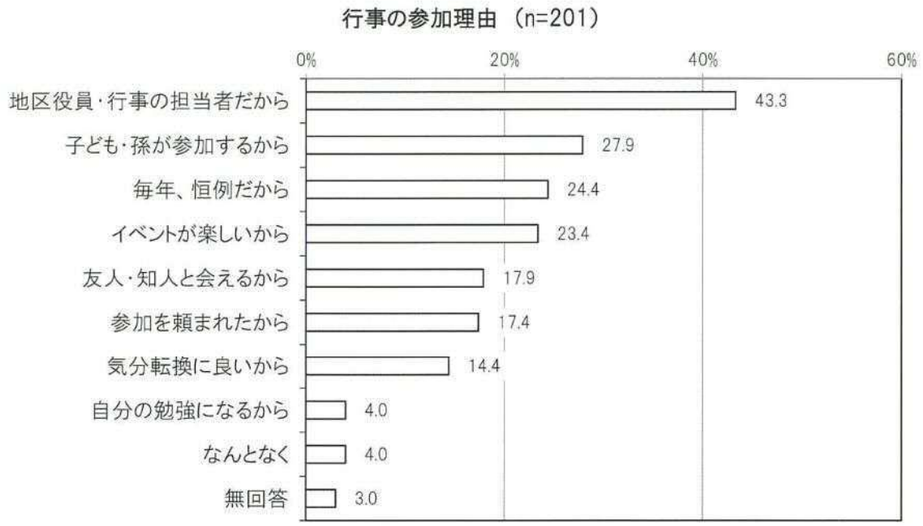
問3 明徳地区の主な行事への参加状況
（１）納涼祭・文化祭・運動会の参加状況
～納涼祭、文化祭は約３割、運動会は約２割の参加～

公民館イベントの参加状況 （n=468）



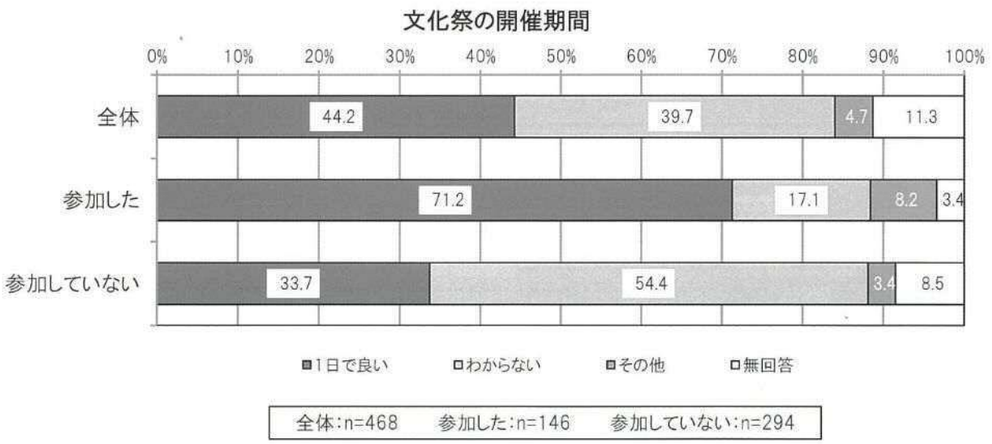
（2）納涼祭・文化祭・運動会の参加理由

～「地区役員・行事担当者だから」が圧倒的に多い理由～



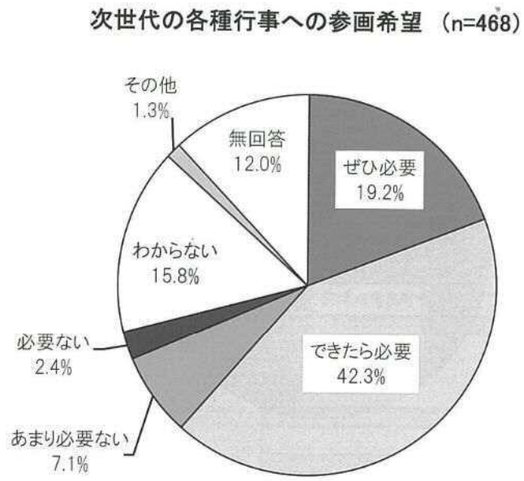
（3）文化祭の開催期間について（コロナ以降は１日開催となっている）

～「1 日で良い」が 4 割以上と最も多い～



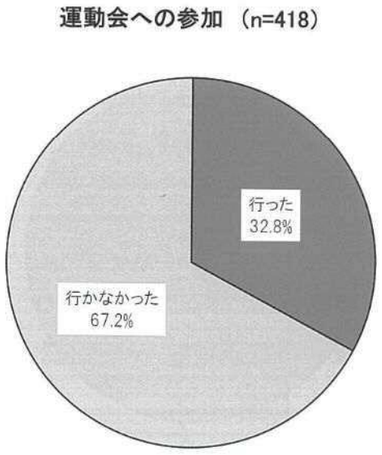
（4） 中学生や高校生等の次世代の方々の参加・参画について(各種行事)

～「ぜひ必要」「できたら必要」が 6 割強と、次世代の参画を希望～

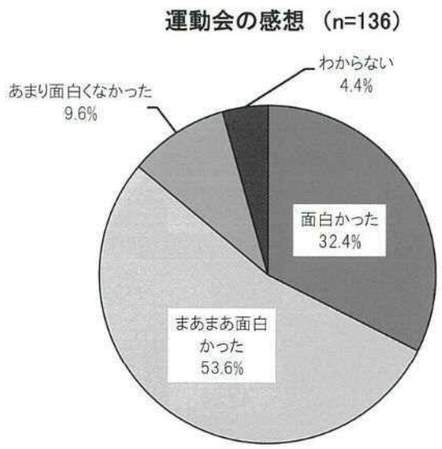


（5）明徳小学校での地区・小学校合同の「運動会」に行きましたか。(コロナ蔓延以前)

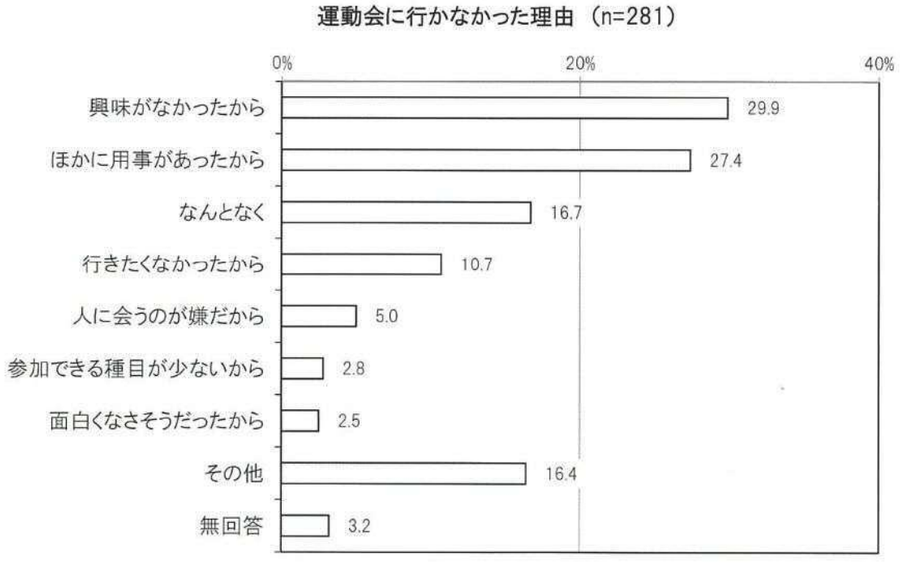
～「行かなかった」が約 7 割～



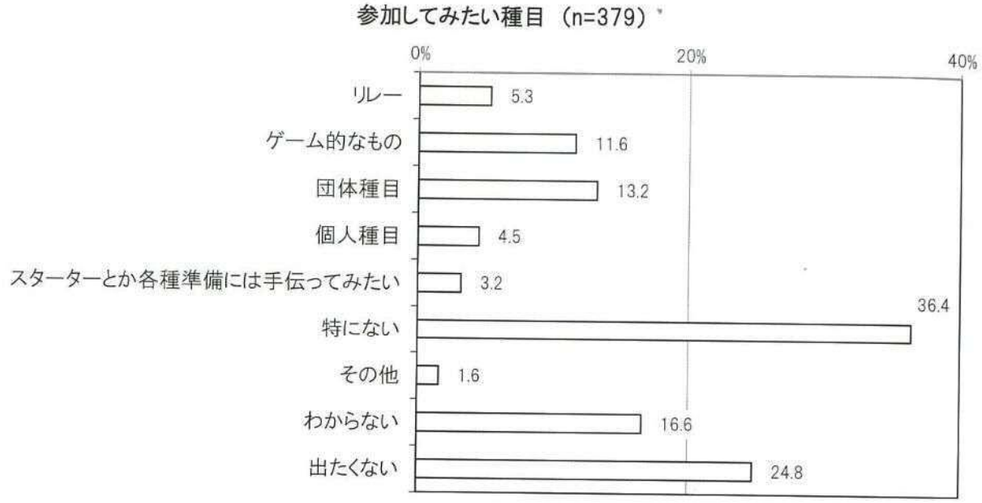
（６）地区・小学校合同の運動会に行った感想は、どうでしたか。（コロナ蔓延以前）
～「面白かった」が８割以上～



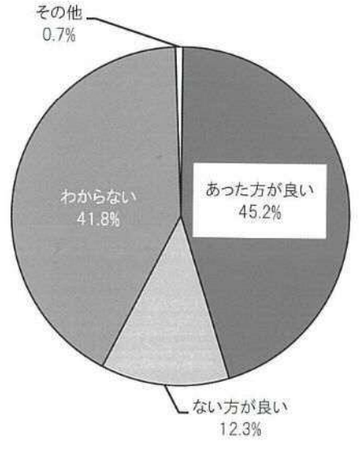
（７） 運動会に行かなかった理由は何ですか。（運動会に行かなかった方のみ対象）
～運動会への興味の減少～



（８） 運動会の種目等で、参加してみたいものがありますか。
～「リレー」「団体種目」が上位～



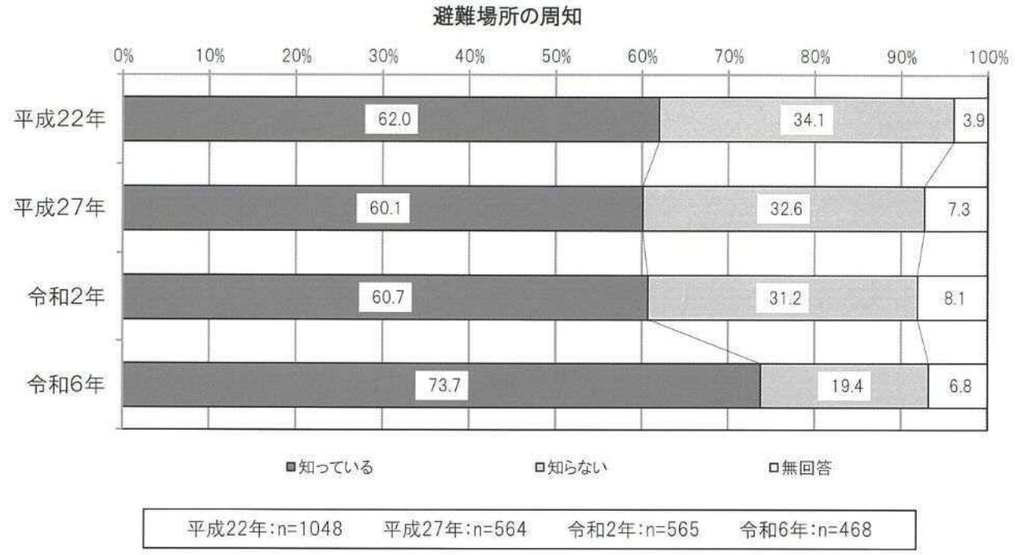
（９） 地区運動会はあった方が良いですか。
～約半分が地区運動会は必要であると思っている～



問4　防災対策と災害時における対応について

（１）地震、大火、洪水、台風時の指定緊急避難場所を知っているか。

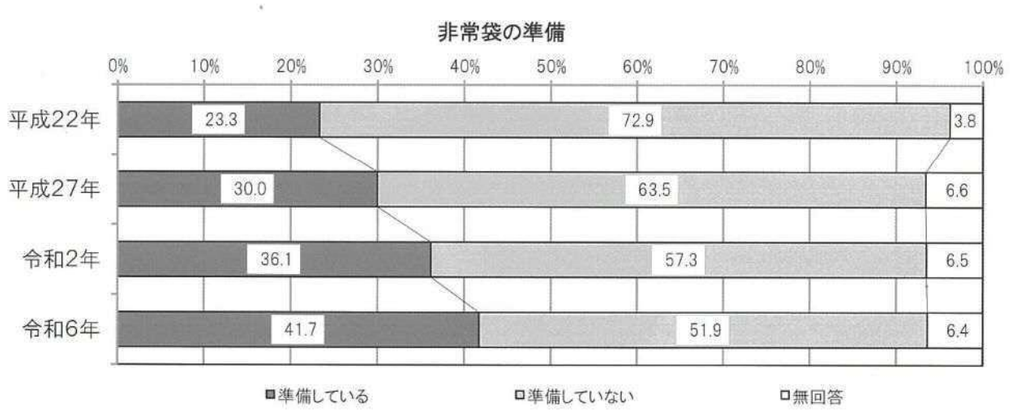
～過去の調査より避難場所周知率が約１割増加～



平成22年:n=1048　平成27年:n=564　令和2年:n=565　令和6年:n=468

（２）災害時の非常袋（懐中電灯、ラジオ、救急医薬品、水、食料等）の準備

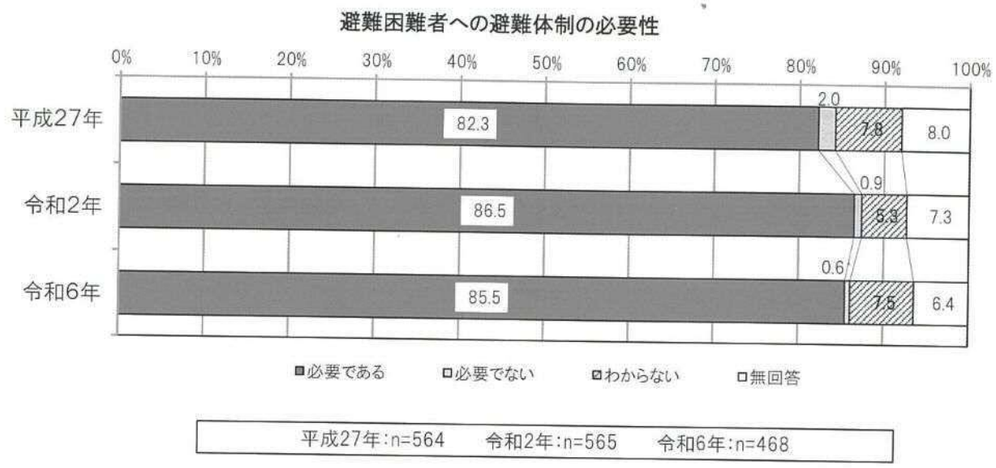
～前回調査と比較し、「準備している」人が増加～



平成22年:n=1048　平成27年:n=564　令和2年:n=565　令和6年:n=468

（３）自力で避難できない方の避難体制の必要性

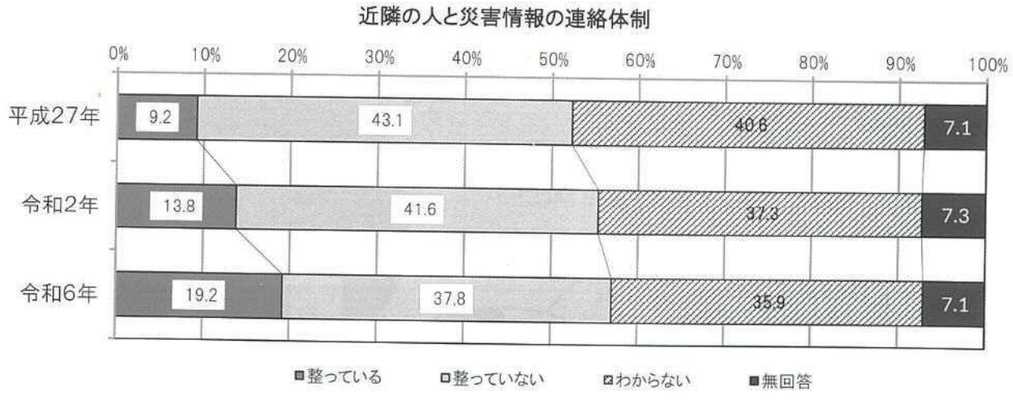
～前年調査同様、避難困難者への避難体制が必要とする意見が多数～



平成27年:n=564　令和2年:n=565　令和6年:n=468

（４）災害時の情報の共有体制

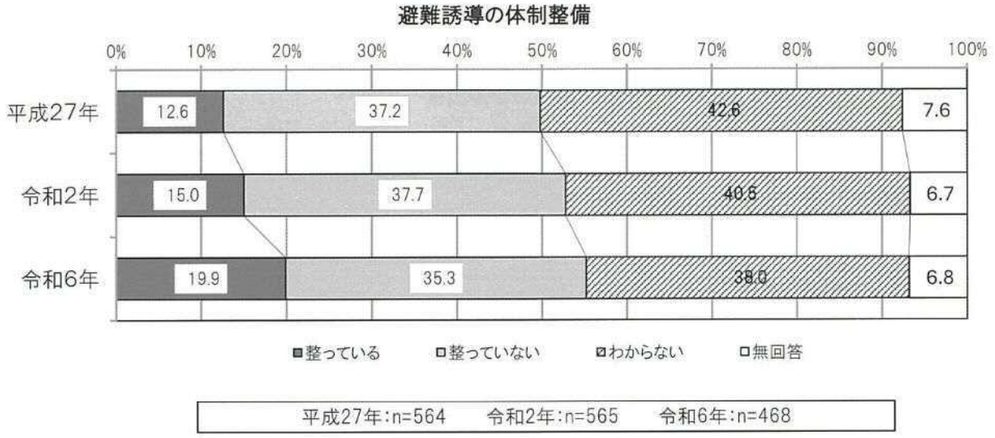
～災害情報の共有体制は、微増するも、依然整っていない意見が多い～



平成27年:n=564　令和2年:n=565　令和6年:n=468

（5）避難誘導の体制整備

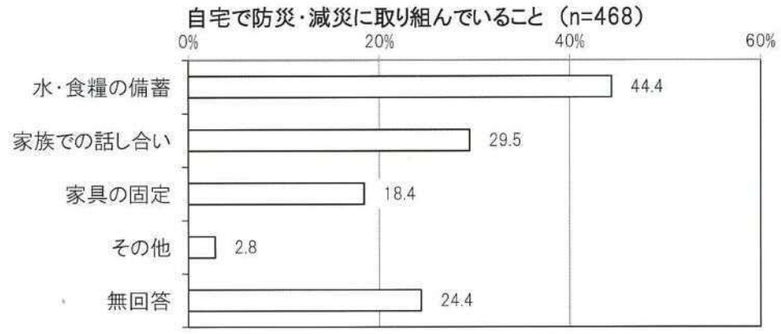
～「整っている」は増加しているが、依然として「整っていない」「わからない」が多い～



平成27年:n=564　令和2年:n=565　令和6年:n=468

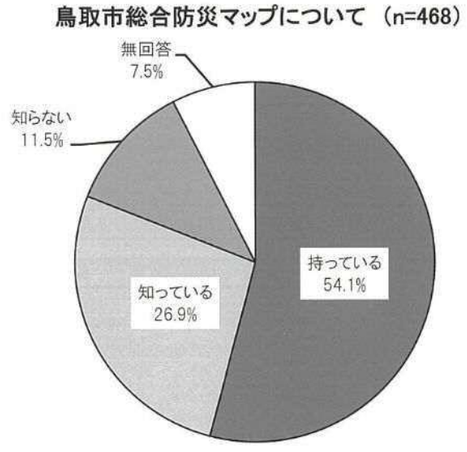
（6）ご自宅での防災・減災への取り組み

～「水・食糧の備蓄」が高い～



（7）鳥取市総合防災マップの認知度

～持っている・知っているが８割以上～

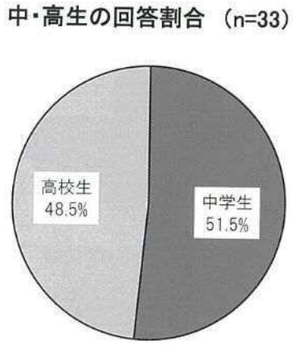


中学生・高校生に対する明徳地区の行事等への参画意識調査

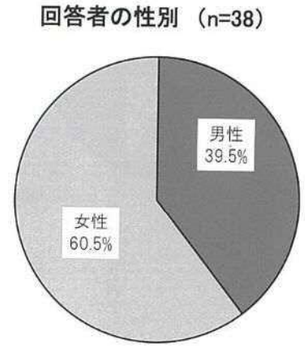
以下は、地区内の中学生・高校生にアンケートを実施した結果である。

問5　回答者の属性

（1）回答者の中学・高校生別

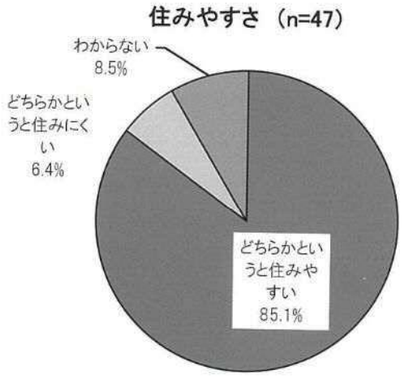


（2）回答者の性別



問6　明徳地区の住みやすさ

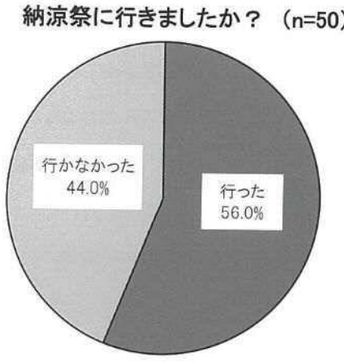
～明徳地区は「住みやすい」が８割超～



問7　中学生・高校生の納涼祭について

（1）最近２年間に納涼祭に行ったか

～「行った」人が約６割～

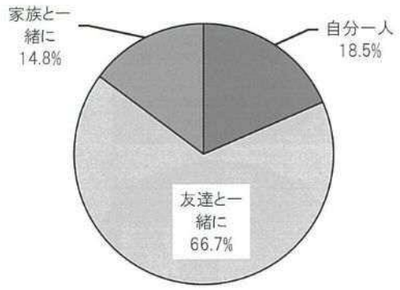




（２）納涼祭に誰と行ったか

～「友だちと一緒に」が６割以上～

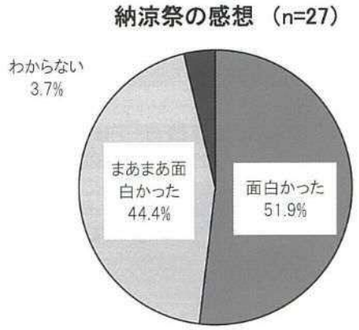
納涼祭は誰と行ったか （n=27）



（３）納涼祭の感想

～ほとんどの人が「面白かった」～

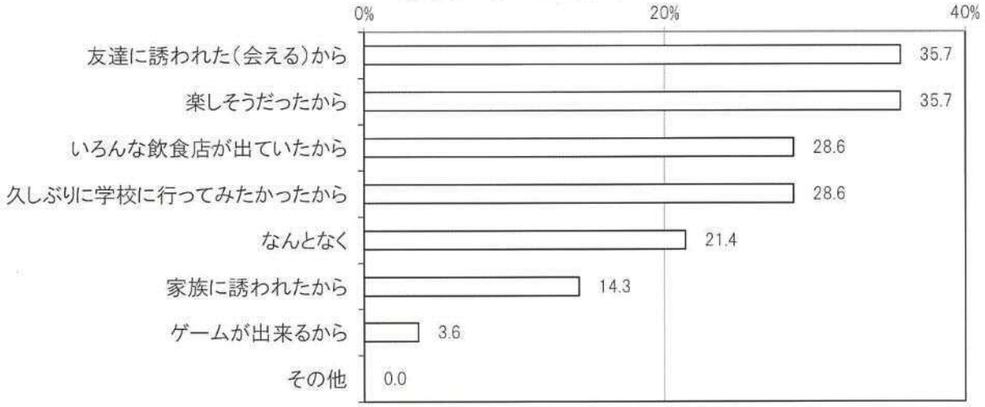
納涼祭の感想 （n=27）



（４）納涼祭に行った理由

～友達と一緒に楽しみたいからという理由が多い～

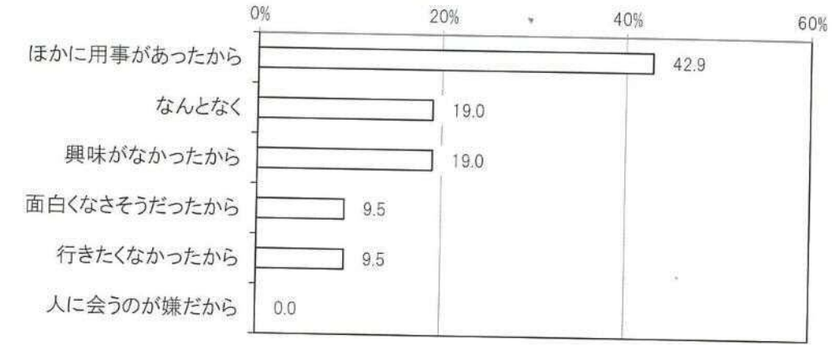
納涼祭に行った理由 （n=28）



（５）納涼祭に行かなかった理由

～「ほかに用事、なんとなく、興味がない」という理由～

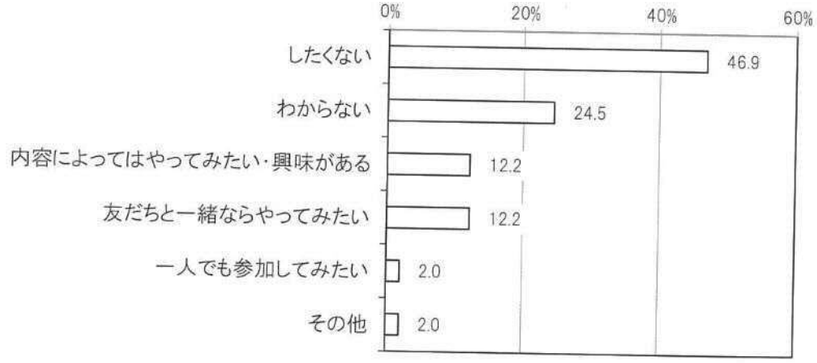
納涼祭に行かなかった理由 （n=21）



（６）納涼祭の参画意欲

～４人に１人が「やってみたい」～

納涼祭の参画意欲 （n=49）

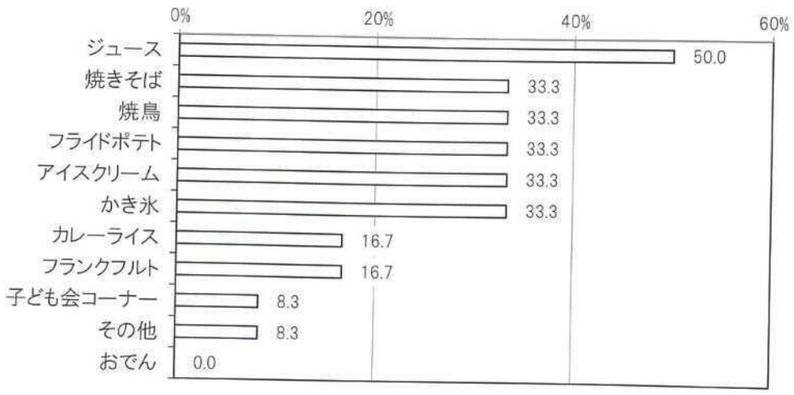


（７）納涼祭で実施してみたい祭事

～「ジュース」「かき氷」「アイスクリーム」等の販売～

納涼祭で実施してみたい祭事 （n=12）



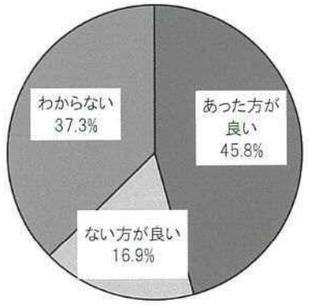


問8　中学生・高校生の運動会について

（１）地区運動会はあった方が良いか

～約半分が必要であると思っている～

運動会はあった方が良いか （n=59）





（２）運動会で参加してみたい種目

～「リレー」「団体種目」が上位～

参加してみたい種目 （n=52）



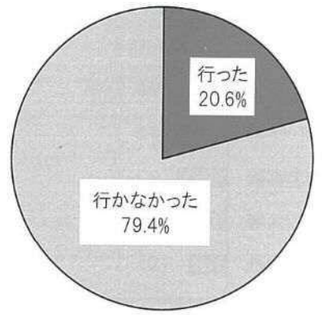
問9　中学生・高校生の文化祭について

（１）最近２年間に文化祭に行ったか

～約８割は、文化祭に行かなかった～



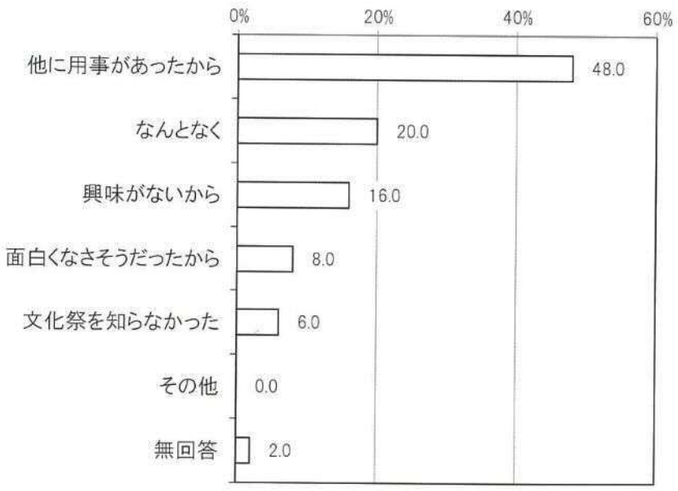
文化祭への訪問 （n=63）



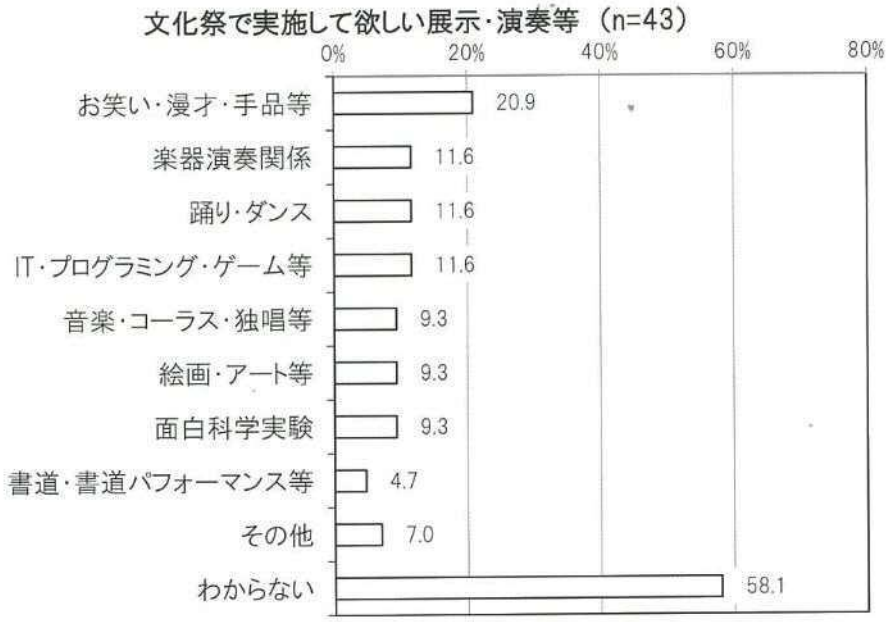
（２）文化祭に行かなかった理由

～他に用事があったが約半数～

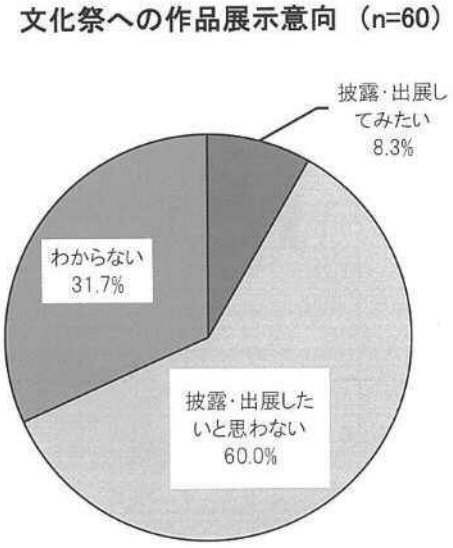
文化祭に行かなかった理由 （n=50）



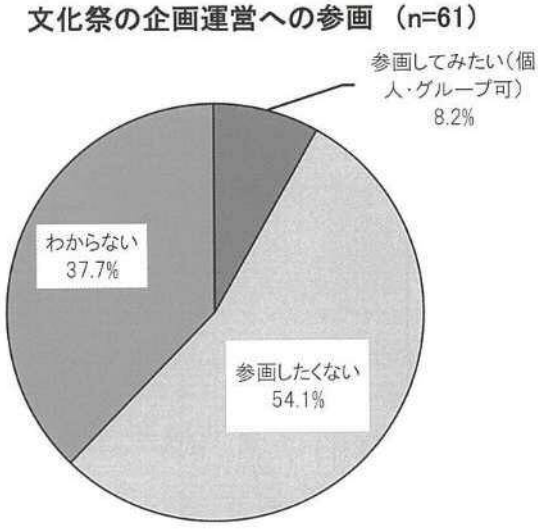
（3）どのような文化的な企画（出演・展示・演奏 等）があれば「文化祭」に行ってみたいか
～「お笑い・漫才・手品等」が高い～



（4）自分の作品の披露・展示希望
～展示を希望も一定数ある～



（5）文化祭の企画・運営への参画希望
～「参画したくない」が多いものの、
意欲的な意見も一定数ある～



南行徳



有楽



瓦町



今町二丁目



今町二丁目
棒鼻



行徳四区



鳥取県無形民俗文化財「聖神社・神幸大祭」に
明徳地区から参加している屋台

元気で輝く明徳地区協議会

～心豊かで安全・安心なまちづくり～

事務局：明徳地区公民館
〒680-0824　鳥取市行徳一丁目210-2
TEL0857-23-0988　FAX0857-23-0993